

「国際政治入門」

この講義では、現在の国際情勢を政治問題の考察を通して分析することにより、複雑な現代社会の諸相を読み解いていきます。受講生の皆さんが、主として、冷戦後の国際および国内の政治情勢についての基礎的な知識を身につけ、現代社会を取り巻く政治問題について自らの頭で考え、論じることができる能力を身につけるための入門的な講義にしたいと考えています。

現代社会は国内の問題が国外のそれと密接に結びついています。それ故、自らが生活する国を正しく理解するためには、国際情勢についての詳しい理解が不可欠です。特に、政治の世界においては「国内政治と国際政治のリンケージ（つながり）」という観点がかきわめて重要な意味を持っています。たとえば、長年にわたる交渉を経て大筋合意に至った TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）をめぐる一連の政策をより正しく理解するためにはその背景にある冷戦後の国際社会において加速化するグローバリズムの主要な流れを最低限理解しておく必要があるし、また、日本の政治的安定のための将来のビジョンをより具体的に語るためには、日米安保条約に象徴される安全保障問題をはじめとする日米関係、さらには、「東アジア共同体」構想や EU（欧州連合）のような地域主義の動きを踏まえた上での中国や韓国、ASEAN（東南アジア諸国連合）および欧米各国といった諸外国との外交問題についての詳しい知識が必要であると言えます。

以上のような国内政治と国際政治のリンケージといった相互連関的な観点の下に、この講義では、受講生の皆さんが、主として、安全保障問題や危機管理問題をはじめとする冷戦後の国際政治についての基本的な知識をさらに深め、また、現在の国際情勢および国際社会における日本の立場や役割についての理解をさらに深めていけるような内容の講義を目指します。